

第16期 中間報告書

平成29年1月1日から平成29年6月30日まで

TOABO

株式会社トーア紡コーポレーション



Top Message ごあいさつ

100周年に向かうトーア紡グループ。

「アメニティ＝快適」という価値を未来に、暮らしに届けるため商品・研究開発を5つの事業分野で展開し、TOABOブランドのさらなる飛躍を目指します。

第16期の業績について

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第16期第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日から平成29年6月30日まで）の事業概要を次のとおりご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に個人消費においても持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しましたが、世界経済は不確実性が高まっており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,644百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は321百万円（前年同期比10.3%減）、経常利益は300百万円（前年同期比34.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は202百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

今後の方針

当社グループでは、5つの事業を中心として、グループ全体のさらなる事業価値の向上を最大の経営課題と位置付け、中期的な経営戦略に基づいて、各事業分野において、以下の取り組みを進めてまいります。

衣料事業

紡績テキスタイル・メーカーとして、原料・原糸からの商品開発を強化するとともに、グローバルな営業活動を行い、東南アジア、欧州、米国への販売を強化し、市場での

シェア拡大に努めます。

インテリア産業資材事業

自動車内装材部門の国内販売は、徹底した生産の効率化と物流の最適化を図り収益の改善を目指します。中国では、生産の安定化を進めるため新規案件の獲得を図ります。また、カーペット部門および不織布部門では、新規商材の開発、新規分野の開拓に努めます。製造部門では生産性向上のための改修と老朽化した設備の更新を実施します。

エレクトロニクス事業

現在取り組み中の新商品の製品化を急ぐことと、既存製品の生産合理化を進めていきます。

ファインケミカル事業

ヘルスケア分野での事業拡大をさらに図るとともに、国内電子材料市場での機能性有機材料の拡販を目指します。

不動産事業

商業施設は投資により資産価値を高め、事務所賃貸については稼働率の向上に努めます。

これらの取り組みとともに、「企業の果たす社会的責任」の一環として、「人」・「暮らし」・「環境」の心地よい調和を求めてまいります。

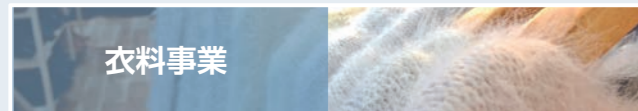
また、法令遵守や危機管理を一層徹底するため、「トーア紡グループ企業行動憲章」のさらなる定着と実践を推進し、より実効性のある内部統制の整備、運用に取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年8月

代表取締役社長 長井 渡

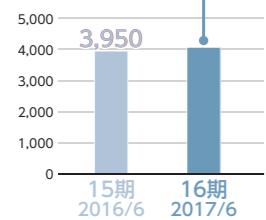
Segment 営業の概況



衣料事業

上半期売上高 単位:百万円

4,046百万円



売上高構成比
41.95%

衣料事業は、各種繊維を原料とする衣料用素材の製造および販売を行っております。

毛糸部門では、国内糸はニット糸、織糸ともに販売が低調で減収となりましたが、中国での毛糸販売が好調で、国内外合わせると増収となりました。

ユニフォーム部門では、学校向け制服素材はほぼ昨年並みに推移し、ニット製品も昨年に引き続き堅調で増収となりました。企業向け、官公庁向けはともに昨年は大口の案件がありましたが、今年は低調で大幅な減収となりました。

テキスタイル部門では、郊外量販店向けメンズ素材、およびレディース素材は昨年を上回る販売で増収となり

ました。

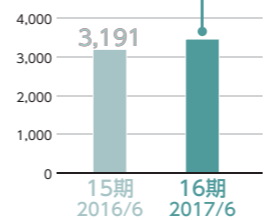
この結果、衣料事業は、売上高4,046百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益71百万円(前年同期比33.1%減)となりました。



インテリア産業 資材事業

上半期売上高 単位:百万円

3,458百万円



売上高構成比
35.86%

インテリア産業資材事業は、自動車用内装材、排水処理資材・土木資材・緑化資材などさまざまな用途の産業用資材、インテリア製品の製造および販売を行っております。

ポリプロファイバー部門は、住宅建材用、車両向け原綿が堅調に推移し増収となりました。

カーペット部門は、住宅関連用途、OEM、カーマット関連、ホテル物件等堅調に推移し増収となりました。

不織布部門は、寝装用途、緑化資材・防草資材は堅調に推移しましたが、土木資材が低調で微減収となりました。

特殊繊維部門は、金属繊維およびカーボン繊維製品とも堅調に推移しました。

自動車内装材部門は、昨年立ち上がりの量販車種や輸出向け車種が好調に推移し増収となりましたが、利益面では販売価格の低迷と原材料高や運送費等の経費増で厳しい結果となりました。

自動車内装材製造販売の中国子会社は、主力の小型車の販売が減税幅の縮小により伸び悩みましたが、SUV型車種の販売が好調で増収となりました。

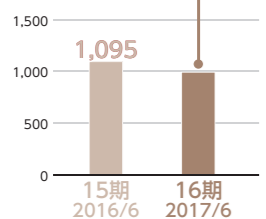
この結果、インテリア産業資材事業は、売上高3,458百万円(前年同期比8.4%増)、営業利益100百万円(前年同期比5.4%減)となりました。



エレクトロニクス 事業

上半期売上高 単位:百万円

993百万円



売上高構成比
10.30%

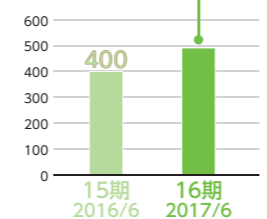
エレクトロニクス事業は、半導体・電子機器の製造および販売を行っており、電動工具向けのコントローラーの受注は堅調に推移しましたが、一方で、家電向け樹脂成型品の受注が振るわず、売上高993百万円(前年同期比9.3%減)、営業利益22百万円(前年同期比30.1%減)となりました。



ファインケミカル 事業

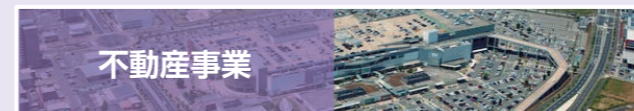
上半期売上高 単位:百万円

491百万円



売上高構成比
5.10%

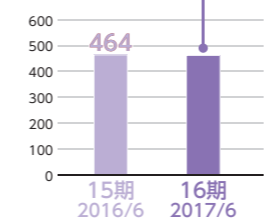
ファインケミカル事業は、ヘルスケア関連薬品、工業用薬品の製造および販売を行っており、機能性電子材料向け中間体の販売が堅調に推移し、売上高491百万円(前年同期比22.7%増)、営業利益65百万円(前年同期比50.1%増)となりました。



不動産事業

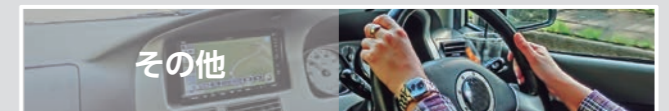
上半期売上高 単位:百万円

462百万円



売上高構成比
4.80%

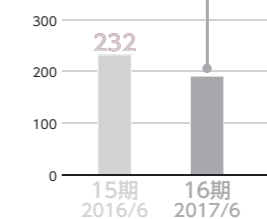
不動産事業は、郊外型ショッピングセンター・オフィスビル等の賃貸を行っており、稼働率の向上に努め、且つ保有資産の効率化を行った結果、売上高462百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益278百万円(前年同期比9.4%増)となりました。



その他

上半期売上高 単位:百万円

191百万円

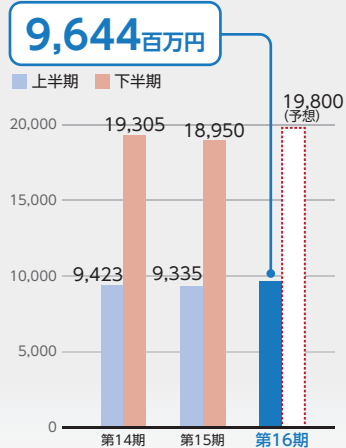


売上高構成比
1.98%

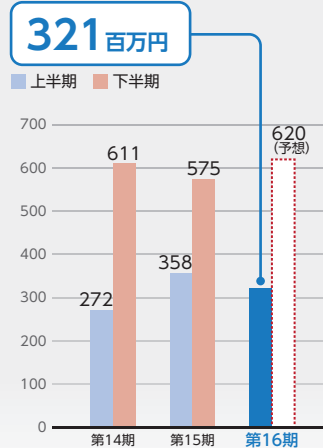
その他の事業は、自動車学校の運営、新規事業および中国における貿易業務などを行っております。

自動車学校は、前年並みの入校生を確保することができ、順調に推移しました。新規事業は、化粧品原料や食品原料を取り扱っており、新たに中国向けの健康食品を受注しましたが、全体としては販売が伸びず、減収となりました。また、中国子会社の販売も減少したため、売上高は191百万円(前年同期比17.9%減)、営業損失0百万円(前年同期は営業損失1百万円)となりました。

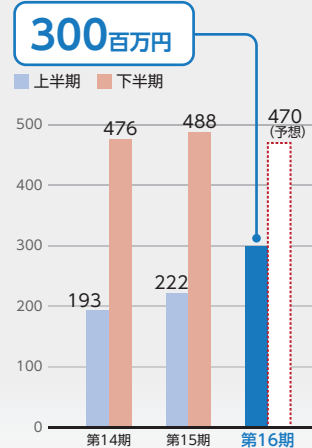
売上高 (百万円)



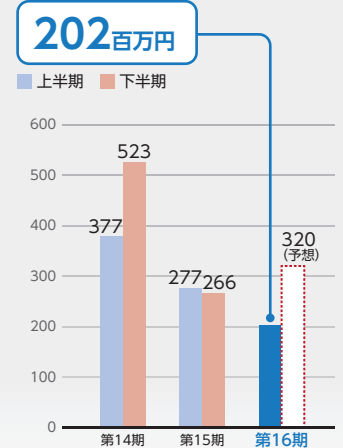
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する
四半期純利益 (百万円)



Topics 1

繊維関連事業にとどまらない、新しい事業領域の開発を手がけています。



▲フコイダン成分を含んだ洗顔石鹸

フコイダンを有効成分とした化粧品原料。
天然モズクを原料とし、フコイダンを高分子の状態のまま抽出した高純度で高品質のフコイダン化粧品原料です。
フコイダンは海藻に含まれるヌメリ成分で、自己修復力や高い保湿力を持っています。
新規事業部ではフコイダン化粧品原料とその関連商品を企画・販売しています。
今後、フコイダンの高分子構造を特徴とした健康食品への展開にも大きな期待が寄せられております。

Topics 2

トア紡の環境保全活動

リサイクル活動

TOABO ECO HARMONY

トア紡の四日市工場 (三重県) に設置されたリサイクルセンターでは、製品回収システム「トア紡エコハーモニー」により全国各地から回収されたウール製品を、裁断や反毛行程を通すことによって再び繊維状にし、フラワーポットなどの緑化資材やモップ、玄関マットなどの生活資材、またオイル吸収材のような工業資材や、ウールの水分特性や難燃性を生かした建築資材や自動車資材などの商品にリサイクルしております。



▲ミトン

▲フラワーポット

▲プランター

会社概要 (平成29年6月30日現在)

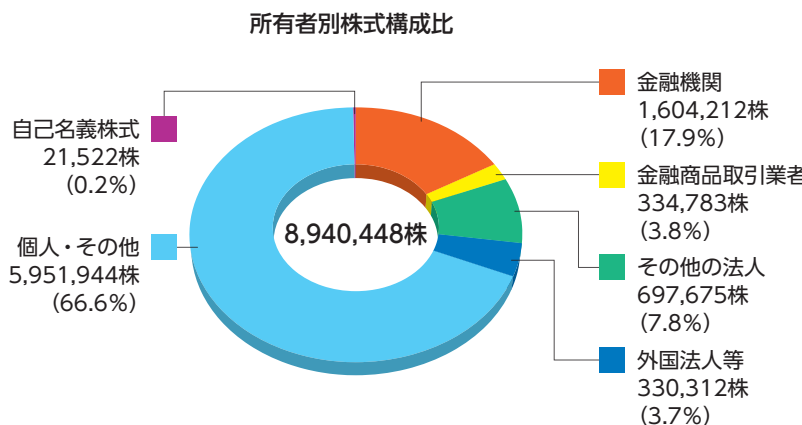
会社名	株式会社トーア紡コーポレーション
設立年月日	平成15年6月12日(創業 大正11年2月)
資本金	3,940,097,500円
主要な事業内容	アプライアンス向け部品、ファインケミカルの製造販売および不動産賃貸、各種繊維製品の製造加工販売を行う子会社の経営管理
事業所	本社 大阪市中央区城見一丁目2番27号 クリスタルタワー18階 東京支店 東京都中央区日本橋小伝馬町14番7号 アクサ小伝馬町ビル4階 大阪工場 大阪府泉大津市虫取町一丁目1番12号
従業員数	67名
ホームページ	URL http://www.toabo.co.jp/

役員 (平成29年6月30日現在)

代表取締役社長	長井 渡
取締役	西井 申明
取締役	山田 哲
社外取締役	坂下 清信
社外取締役	丸岡 健二
常勤監査役	川崎 隆行
社外監査役	高島 志郎
社外監査役	伊藤 豊久

株式の状況 (平成29年6月30日現在)

発行可能株式総数	14,300,000株
発行済株式総数	8,940,448株
株主数	6,679名



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
定時株主総会	毎年3月に開催	単元株式数	100株
基準日	毎年12月31日	公告方法	電子公告の方法 公告掲載URL http://www.toabo.co.jp/ 電子公告による公告ができない場合、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料) インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/		

- 手続におけるご注意
- 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。